

概 要

警察區劃

昭和十年末現在本縣警察行政區劃ハ其ノ監督官廳タル警察部ノ下ニ22ノ警察署ヲ置キ、更ニ警部補派出所7、巡查部長派出所40、巡查派出所27、請願巡查派出所2、巡查駐在所272ヲ配置シ、2市329ヶ町村ノ警察事務ヲ管掌セシメ、以テ公共ノ安寧秩序維持ト縣民ノ保安確保トニ努メツツアリ。

而シテ警察署ノ配置ノ狀況ヲ觀ルニ距離ニ在リテハ警察部へ最モ遠キハ船津署ノ173軒ニシテ、面積ニ在リテハ高山署ノ1,968.65平方軒ヲ最モ廣キモノトス。

次ニ外勤巡查一人當リノ管轄狀況ヲ觀ルニ戶數340戶、人口1,862人ニシテ、管内ニ於ケル之等ガ多キモノヲ舉グレバ戶數ニ在リテハ八百津署ノ443戶、高山署ノ429戶、人口ニ在リテハ八百津署ノ2,522人、高山署ノ2,213人等之ナリ。

警察官吏年齡

昭和十年末現在ニ於ケル警察官吏834人ヲ年齡別ニ觀レバ二十五歳以上三十歳未滿ノ241人最モ多ク總數ノ29%ヲ占メ、之ニ次グハ三十歳以上三十五歳未滿ノ232人(28%) 三十五歳以上四十歳未滿ノ148人(18%) 二十歳未滿ノ98人(12%) 等ニシテ他ハ何レモ少數ナリ。

警察職員年齡

昭和十年末現在ニ於ケル警察職員116人ヲ年齡別ニ觀レバ、二十五歳未滿ノ34人最モ多ク總數ノ30%ヲ占メ、之ニ次グハ三十五歳以上四十歳未滿ノ18人(16%) 二十五歳以上三十歳未滿ノ16人(14%) 三十歳以上三十五歳未滿ノ12人(11%) 等ノ順位ニシテ他ハ何レモ少數ナリ。

巡查志願者

昭和十年中ノ志願者總數ハ841人ナルモ、内合格者ハ僅カニ67人ニシテ總數ノ8%ニ過ギズ他ハ不合格者748人(89%)、取消及其ノ他ニ依ルモノ26人ナリ。而シテ巡查志願者ノ中本縣人ハ735人ニシテ(87%)他府縣人ハ106人(13%)ナリ。

巡查採用者教育程度

昭和十年度ニ採用セラレタル巡查ノ數ハ67人ニシテ、之ガ學力程度ヲ觀ルニ、尋常小學校ヲ卒業セシ者36人最モ多ク54%ヲ占、メ之ニ次グハ中等學校卒業生23人(34%)ニシテ他ハ中等學校中途退學者、專門學校卒業生等ナルモ其ノ數極メテ僅少ナリ。

火 災

昭和十年中火災發生件數ハ238件ニシテ、内 失火207件(87%)放火17件(7%)不審火及其ノ他ヲ合シ14件(6%)ナリ。次ニ罹災ノ狀況ヲ觀ルニ延燒セシモノ60件、延燒セザリシモノ110件、直チニ消シ止メタルモノ68件ニシテ、總數ニ於テ前年ヨリ12件ヲ減少セリ。

而シテ罹災棟數ハ全燒260棟、半燒101棟ニシテ其ノ燒失建坪數ハ50,321平方米ナリ。

次ニ之ヲ世帯數ヨリ觀ルトキハ總數239ニシテ、之ガ損害見積額ハ582,440圓ニ上リ、一回ノ火災發生ニ依ル損失見積額ハ2,436圓強ニ當ル。

更ニ之ヲ月別ニ觀レバ十二月ノ30件最モ多ク、四月29件一月26件等之ニ次ギ最モ少ナキハ九月ノ7件ナリ。

消 防

昭和十年末現在ノ消防組數ハ 335組ニシテ、之ガ編成ハ組頭333人、副組頭314人、部頭741人、小頭2,223人、副小頭2,695人、消防手40,759人ヲ以テ成リ、ポンプ總數ハ1,333臺ニシテ之ヲ種類別ニ示セバ次ノ如シ。

自動車 26 オートバイ 10 瓦斯倫 179 蒸汽 1 腕用 1,117

犯罪發生、檢擧件數

昭和十年中ニ於ケル犯罪發生總件數ハ 35,098件ニシテ、之ヲ犯罪種別ニ觀ルトキハ、窃盜ノ 8,247件(23%)最モ多ク、之ニ次ギ詐欺罪ノ 5,687件(16%) 業務上横領罪ノ 3,508件(10%) 等主ナルモノニシテ、之等ヲ以テ犯罪發生總件數ノ半ヲ占ムルモノナリ。而シテ之ガ總件數ヲ前年ニ比較スルトキハ、4,268件(11%)ノ減少ヲ見ル。次ニ昭和十年中ニ於ケル犯罪檢擧ノ狀況ヲ觀ルニ、之ガ總件數ハ 34,109件ニシテ管内32,690件、管外1,419件ナリ。而シテ管内ノ檢擧件數ヲ犯罪發生總件數ニ比較スレバ93%ニシテ、其ノ差7%ハ窃盜罪ニ於テ檢擧ニ至ラザルモノアルニ因ル。

尙犯罪檢擧總數ヲ前年ニ比較スルトキハ 4,860件(13%)ノ減少ヲ見ル。

警察犯即決事件及諸規則違反即決事件

昭和十年中ノ警察犯即決事件及諸規則違反即決事件ニ就キ前年ト比較シ之ガ概況ヲ表示スレバ次ノ如シ。

	總 數			拘 留			科 料		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
警察犯即決事件	1,511	68	1,579	676	30	706	835	38	873
同上九年中	1,370	95	1,465	694	33	727	676	62	738
諸規則違反即決事件	5,364	513	5,877	27	6	33	5,337	507	5,844
同上九年中	5,362	399	5,761	28	6	34	5,334	393	5,727

不良少年少女

昭和十年中ノ不良少年少女總數ハ377人ニシテ、内男324人(86%) 女53人(14%) ナリ。

之ヲ年齢別ニ觀レバ男ニ於テハ十七歳58人(18%) 最モ多ク、之ニ次ギ十五歳50人(15%)、十八歳49人(15%)、十四歳46人(14%) 等ノ順位ニ在リテ他ハ少數ニシテ概ネ年齢ノ低下ト共ニ其ノ數亦遞減スルヲ見ル。

次ニ女ニ在リテハ十七歳ノ十人(18%) ヲ高位トシ、他ハ男ト共ニ年齢ノ低下ニ伴ヒ之ガ數ノ漸次遞減ヲ見十一歳未滿ノモノ無シ。

次ニ之等ガ動向ノ情勢ヲ觀ルニ、前年ヨリノ越人員209人内男179人女30人、新ニ視察ヲ開始シタルモノ168人内男145人女23人、年内ニ視察ヲ解除シタルモノ12人、感化院ヘ入院セシモノ7人、刑務所ヘ入所セシモノ1人、他府縣ヘ轉出セシモノ26人、其ノ他27人ニシテ差引現在數ニ在リテハ302人ヲ算シ内男272人女30人ナリ。

自 殺 者

昭和十年中ノ自殺者ハ394人、内男249人(63%) 女145人(37%)ニシテ、之ヲ手段別ニ觀レバ次ノ如シ。

種 別	總 數	男	女	種 別	總 數	男	女
縊 シ テ	199	134	65	毒物又ハ藥劇ニテ	48	27	21
入 水 シ テ	74	33	41	電 氣 = 觸 レ テ	2	2	—
刃 物 = テ	7	5	2	汽 車 = 觸 レ テ	47	33	14
銃又ハ火藥類ニテ	1	1	—	電 車 = 觸 レ テ	1	1	—
斷崖其ノ他ノ高所ヨリ投ジテ	5	5	—	其 ノ 他	8	7	1
火 中 = 投 ジ テ	2	1	1				

之ヲ季節ニ依リテ分テバ七月ノ53人最モ多ク、五月ノ52人、四月ノ46人等之ニ次グ。次ニ之ヲ年齢別ニ觀レバ五十歳以上最モ多ク214人(54%) 内男145人女69人ニシテ、之ニ次グハ二十歳以上三十歳未滿ノ72人(18%)内男40人女32人ナリ。

更ニ之ヲ原因別ニ觀レバ病苦ニ因ルモノ128人(32%) 内男84人、女44人最モ多ク、厭世ニ因ルモノ83人(21%) 内男57人、女26人、精神錯亂ニ因ルモノ63人(13%)、内男34人、女29人等順次之ニ次ギ他ハ何レモ僅少ナリ。

工場法適用工場

昭和十年中ノ工場法適用工場ハ其ノ場數2,006、職工數45,422人内男14,996人、女30,426人ニシテ、之ヲ前年ニ比較スレバ工場數ニ於テ(2%)ヲ減少シ、職工數ニ於テ(7%)ヲ増加セリ。

而シテ之ヲ事業別ニ觀レバ次ノ如シ。

業 態 別 (大 分 類)	工 場 數	前年トノ 比較増減	職 工 數			前年トノ 比較増減
			男	女	計	
染 織 工 場	313	↔ 22%	4,521	25,657	30,178	↔ 8%
機 械 及 器 具 工 場	254	↔ 20	1,992	219	2,211	↔ 14
化 學 工 場	206	↔ 20	4,395	1,980	6,375	↔ 13
飲 食 物 工 場	13	↔ 19	123	11	134	↔ 5
雜 工 場	452	↔ 6	2,876	415	3,291	↔ 20
特 別 工 場	140	↔ 4	592	1	593	↔ 5
一 部 適 用 工 場 (織物・撚絲)	628	↔ 10	497	2,143	2,640	↔ 20
合 計	2,006	↔ 2	14,996	30,426	45,422	↔ 7